

# たより

\*\*\*\*\*

○今年は格別雪が多うござい  
ました。お茶  
の水では雪だ  
るまでも作る  
のがせい／＼でしたのに、さすがに廣々  
としたこの庭では、雪合戦、雪すべりと  
遊びが大きく、幼稚園の爲に降つた  
かと思はれる程活氣づいて來ます。色と  
り／＼の小さな手袋がストーブのあみに  
並ぶのも、雪の日の可愛い情景でござ  
います。

○何ごとにも宜しく、みな様からのお便  
りをおまちして居ります。

○倉橋主事は本校から帽子と外套をかゝえ  
てお出でになりました。なんとその外套  
は、女子高等師範學校中にて最も偉大な  
體軀のM教授のものであります。

私がお見かけした時は一寸  
こんな様子。M教授の方で  
はどんなでせう。私の繪心だけでは描け  
ません。

○音に名高き人形芝居の菊池さんは郊外か  
ら近くの音羽町に引越したのが、丁度幼  
稚園で最も忙しい新入園検定のころ。明  
日は抽籤といふ日の歸りに、  
明日は八時迄に來なくちや間に合はな

いのね。

さうよ、ぢや一番近い菊池さんに萬事  
お願ひすることにしませう。  
ぢや、この掲示もみんな。

ついでに椅子の雜巾がけも。  
といふわけで朝になりました。肝心の當  
の人は七人の七番目、おごろ／＼何で  
もおごろめと駆け込み、起きたのが八時  
近くだったそうです。間もなく白十字の  
ショートケーキを御馳走になつたのはい  
ふ迄ありません。

○神原さんは大のスキー禮讀者。雪といふ  
字を見ただけで、胸がときめくさうです  
から、執着心は腕前によらないと見えま  
すね。それが、紀元節日曜とつゞくスキ  
ー列車の満員の目、躍る心を抑へてわが  
家につゝこんでゐました。それは翌日が  
幼稚園抽籤なのでその理由はかうです。

私、スキーに行くところの上眞黒になる  
でせう、さうすると、抽籤に澤山人が  
集つて來て、あら、この幼稚園にこん  
な眞黒な先生が居るのかしらつて思は  
れたら、主事にすまないぢやありません  
か、だから我慢するわ。

然し皆様御安心下さいませ、倉橋主事は  
よにも稀なる心の寛い方ですから黒かろ  
うが、青かろうがそんな御心配には及び

ませんのに。

○編輯子はじめて本欄でお目見得致しま  
す。昨年の暮に、「たより欄」をおくやう、  
新庄氏から奨められ、OK!とばかり承  
知しておきながらのび／＼になつて居た  
のですが、それに業をにやしたのでせう、  
二月號に獨りで同氏が皮切りしてしまひ  
ました。ところが豫想以上に好評なの  
で、若しかして私がおほめに預つては誠  
に相済みせんから、こゝに名譽を受け  
る人を明らかに致す次第です。

○いよ／＼昭和七年もこれでおしまひ。今  
は園兒をおくり又迎へる、重なる準備で  
お忙しくいらつしやいませう。今月は幼  
稚園の年頭號として編輯いたしました。  
「新保育期の計畫と所期」「新入幼兒のむ  
かへ方」の多數實際家の御言葉は、よろ  
こんで頂けるものと存じます。學校關係  
は何處も年度末の御多忙と見え、今月は  
お約束の原稿で、頂けぬものが多くて殘  
念でした。

○この新園舎の様子をのせるやう、皆さん  
から御催促をいたゞいて居りますが、「お  
茶の水時代」も本號でなへましたので、來  
月號から追々に「新園舎すまひ」を掲げる  
積りで御座います。

(神原)